

日立クッキングヒーター システムキッチン用ビルトインタイプ 設置工事説明書

HT-MRA4形
HT-MRB3形
HT-MRB4形

もくじ

安全のため必ずお守りください	1
設置工事をされる方へのお願い	3
单相200V専用コンセントの設置	3
設置場所の確認	4
システムキッチン温度上昇	5
システムキッチン加工寸法図	5
製品寸法図	6
設置方法	6
工事完了後の確認	8

安全のため必ずお守りください

ここに示した注意事項は、危害や損害を未然に防止するために重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示と意味は次のようになっています。



警告

誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容



注意

誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容

絵表示の例



「必ずアース工事をおこなってください」を示します。



「必ずしてください」を示します。



「禁止」(しないでください)を示します。



警告

アース工事は必ずおこなうこと

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

(電気工事業者によるD種接地工事が必要です。)



定格容量に合った(200V用)のコンセントを単独回路で使用する

プラグの定格は30Aなので200V-30Aのコンセントをご使用ください。他の器具と併用すると配線部が異常発熱して発火することがあります。



コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、はさみ込んだりしない

コードが破損し、火災・感電の原因となります。



■電気配線工事は必ず電気工事登録業者に依頼すること

自分で工事され、不備があると感電や火災の原因になります。

■設置するときは、火災予防条例に基づいて、可燃物との離隔距離を必ず守ること

距離が近いと火災の原因になります。

■電源電線およびアース線は、プラグをはずして直結しないこと

漏電やショートにつながることもあり、感電や発火の原因になります。

■プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電・火災の原因になります。

■設置工事説明書をよく読み、正しく確実に工事すること

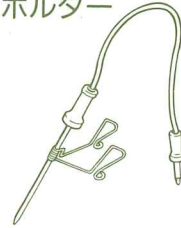
不備があった場合、感電や火災、けがなどの原因になります。

設置工事をされる方へのお願い

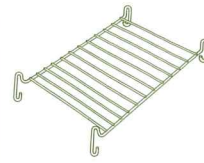
- この器具は、適切な電気工事と設置がされていまして、性能が十分発揮できないばかりか、過熱などの危険が生ずる場合がありますので、この説明書をよくお読みのうえ、適切な工事をお願いいたします。
- 電気工事は、必ず電気工事士の免許をお持ちの方がおこなってください。
- 工事完了後は、必ず確認チェックをおこない、お客様へご説明ください。
- この説明書は、必ずお客様へお渡しください。

同梱部品の確認

温度センサーホルダー



焼網



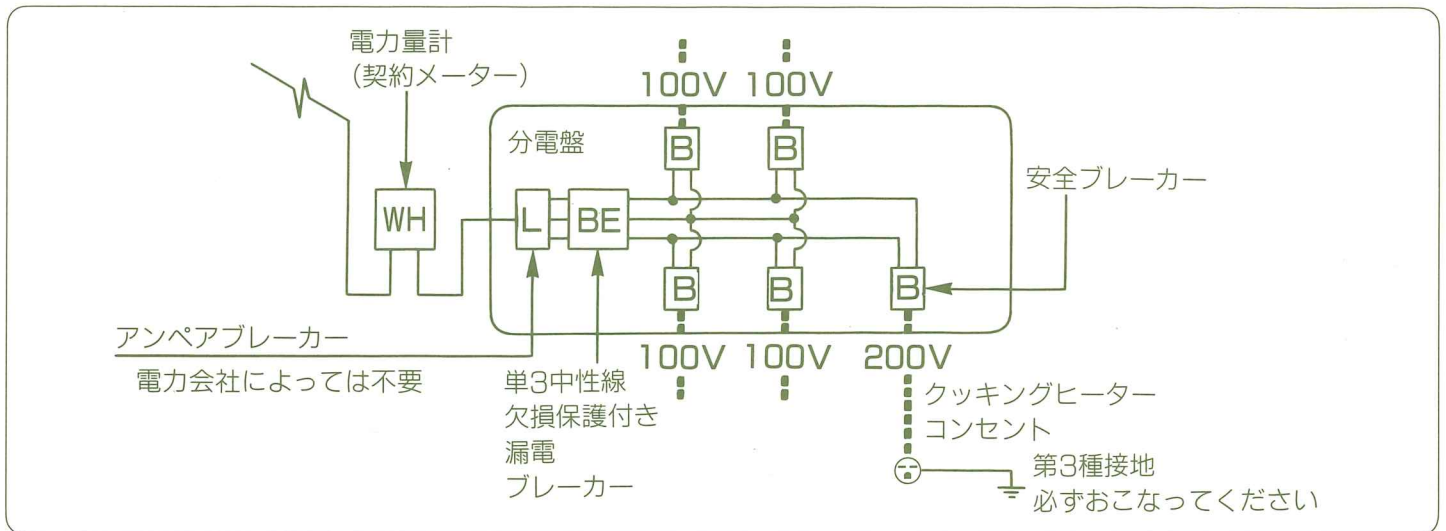
付属ネジ
(φ4×14⊕バインド
ダッピンネジ1種)



4個

单相200V専用コンセントの設置

●専用回路の設置

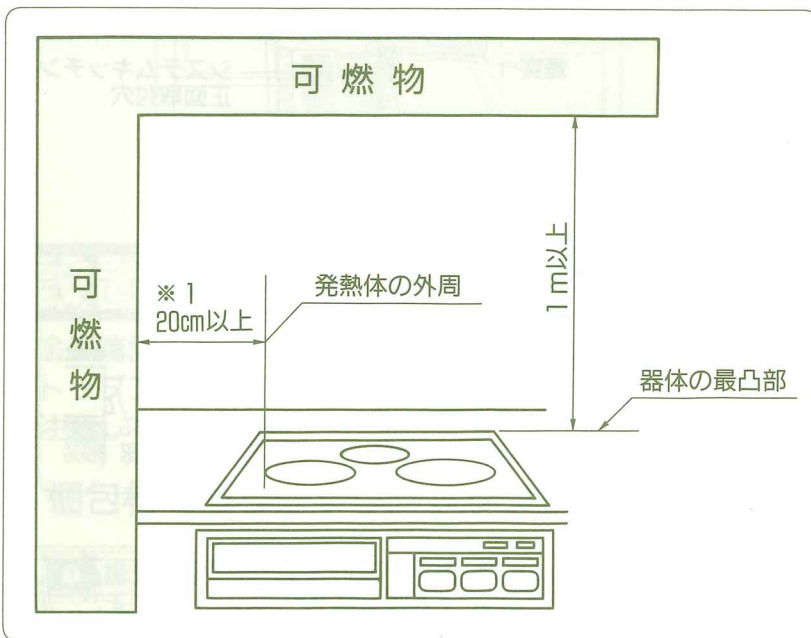


- クッキングヒーター用のコンセントは、規格で次のようなものが標準品となっていますので、事前にご確認の上、設置してください。

器具の容量	電線の太さ	コンセントの形状
30A	φ2.6mm	 单相200V用(接地極付) 250V-30A

設置場所の確認

- 火災予防条例、電気設備技術基準第182条に従って設置してください。
- クッキングヒーターは電気用品取締法で定められている平常温度上昇試験で各部の温度が95°C、異常温度上昇試験で145°Cとなると推定し、システムキッチンのクッキングヒーター近傍の材料はそれに耐える物を使用してください。
- カウンタートップは熱硬化樹脂化粧板（JIS・K・6903）と同等以上の耐熱性のある物を使用してください。
ニス引きのものは変色しますので使わないでください。
- 製品の金属部がシステムキッチンの金属部と接触する場合は建造物の壁中の金属（メタルラスなど）とシステムキッチンの金属部を接触しないようにするか、または製品の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。（電気設備技術基準第182条により義務づけられています。）
- 製品は水平に設置してください。
- 製品は火災予防上、可燃物との間を図のように離して取り付けてください。

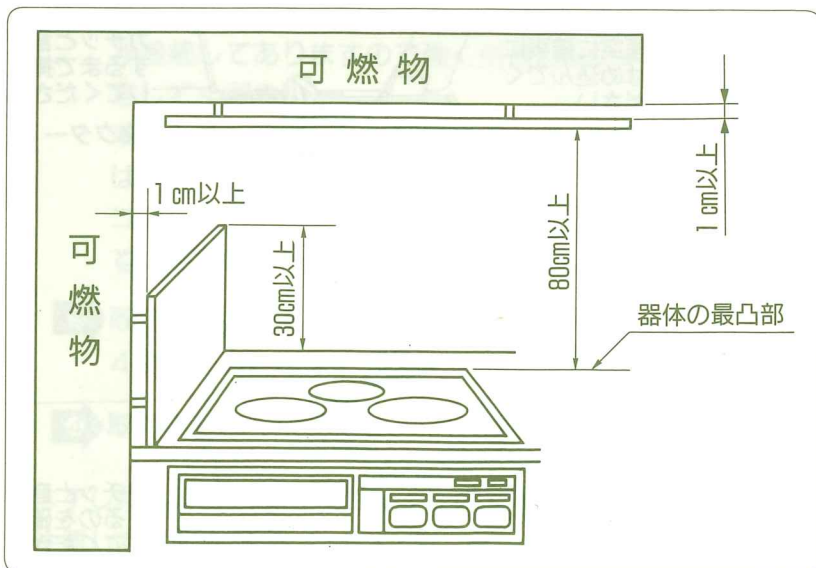


※1

1 kW以下	10cm
1 kWを越え2 kW以下	15cm
2 kWを越え3 kW以下	20cm

☆製品の前面はできるだけ広く（60 cm以上）あけて通行時や冷蔵庫、家具等の扉が当たらないようにしてください。

- 上記寸法がとれない場合には、不燃材による防熱板を取り付けてください。



☆防熱板はこれを設けたとき、機器周囲の木壁温度が室温35°Cの時、100°Cを越えない断熱性を有すること。
衝撃等によって変形のないよう補強してください。

システムキッチン温度上昇

- システムキッチンに使用する材料は145°Cの熱に耐えるような材料を使用してください。また、接着剤等の耐熱性にもご注意ください。

1 異常温度上昇試験において、システムキッチンの各部分の温度は145°C。

この試験条件は左右のヒーターにフライパンを空でのせ、強火で連続通電すると共に、グリルの庫内温度を約280°Cに保つ状態に相当します。

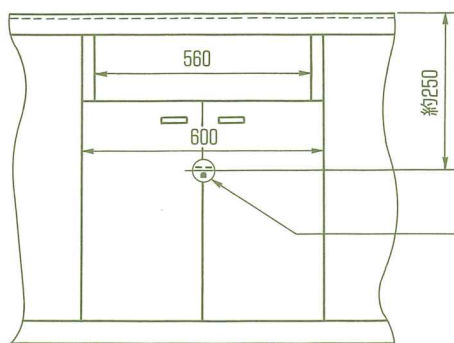
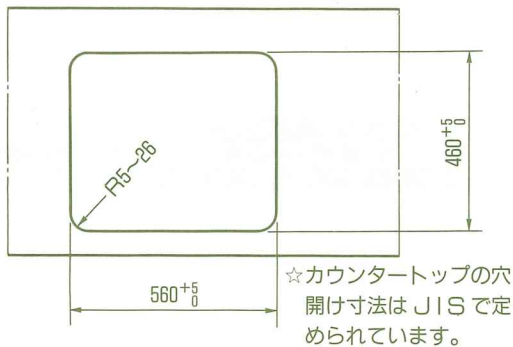
2 平常温度上昇試験においてシステムキッチンの各部分の温度は95°C。

この試験条件は左右のヒーターに水を入れた鍋をのせ、強火で連続通電すると共に、グリルの庫内温度を約280°Cに保つ状態に相当します。

システムキッチン加工寸法図

単位：mm

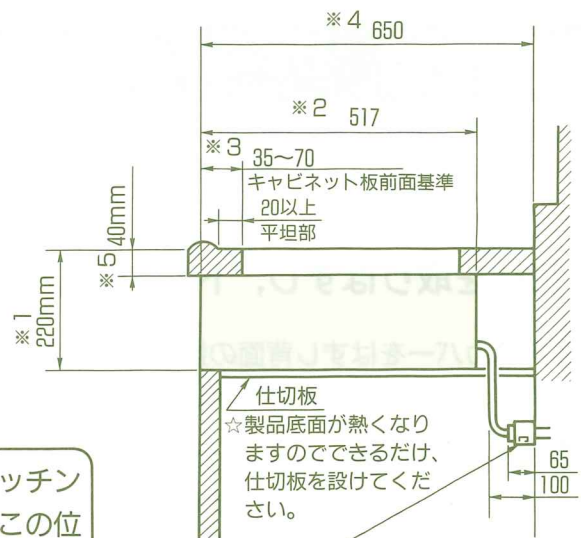
●カウンタートップ穴寸法



システムキッチン背面の壁のこの位置にコンセントを設けてください。

●側面図

- 部分への突起は不可。



☆※1、※2の寸法は製品寸法ですからこの部分に突起物がないようにしてください。

☆※3の寸法はカウンタートップの穴位置の基準を示し、この範囲であれば設置できます。

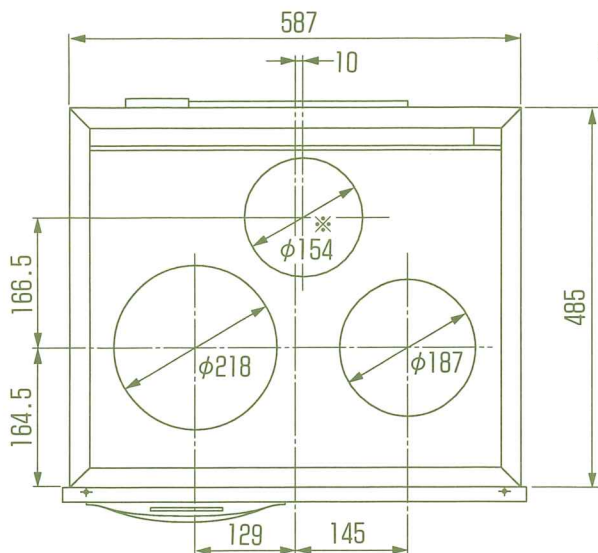
☆※4の寸法に合わせてプラグがぶつからない位置にコンセントを設置できます。

☆※1が270mmの場合には、別売の下ルーバーがありますので準備ください。 HT-D4F

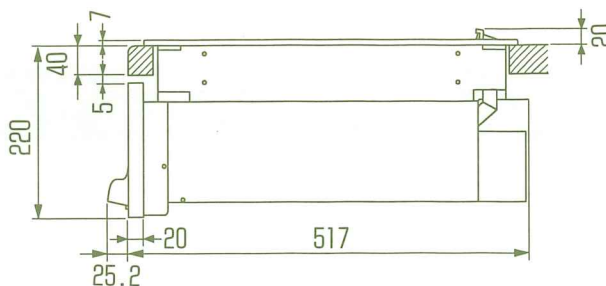
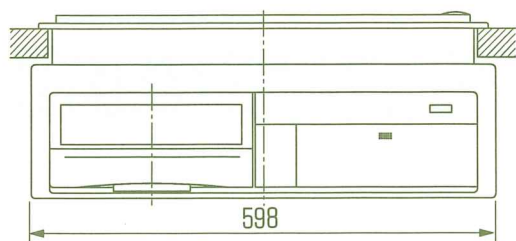
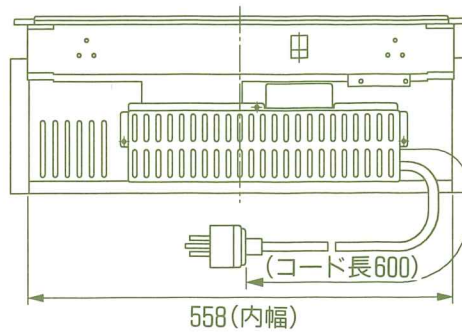
☆※5が30mmの場合には、別売の上ルーバーがありますので準備ください。 HT-D4E

製品寸法図

単位：mm



※中央ヒーターは、HT-MRA4とHT-MRB4のみです。



設置方法

ブレーカーは必ずしゃ断して工事してください。

※金属端面部が多いため、けがをしないように注意してください。

※トッププレートをはずす際、勢いよく上に持ち上げると、コネクター部が破損する恐れがありますので注意してください。

1 梱包材を取りはずし、トッププレート部、取付枠、本体の3つに分解する

① 排気カバーをはずし背面の排気口からネジ (M4×8, クロ) 2個をはずします。

② 背面の排気口側からトッププレートをゆっくり上に持ち上げ本体からはずします。(コネクターが接続してありますので強く引張らないよう注意してください)

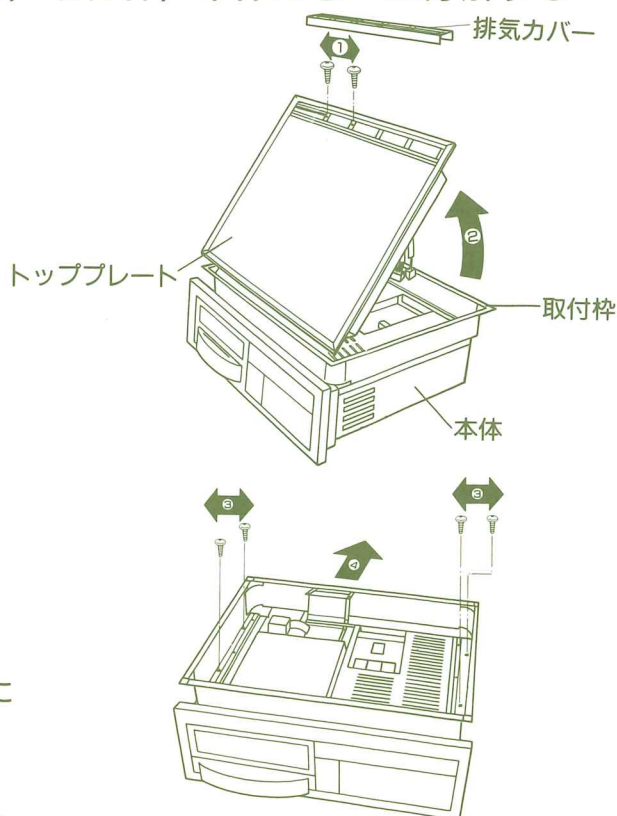
本体とトッププレート部のコネクターを3ヶ所はずします。

コネクターは必ずコネクター部を持ってはずしてください。

③ 取付枠と本体を取り付けているネジ (M4×8) 4個をはずします。

④ 取付枠を後に引き抜き、本体からはずします。

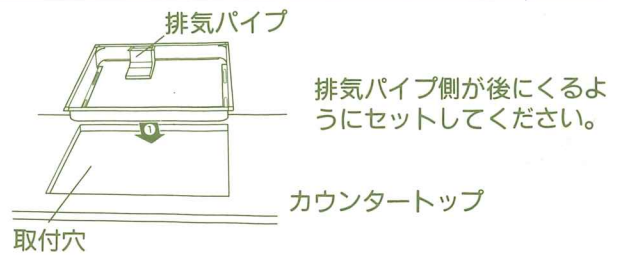
※はずしたネジは、後で使用しますので紛失しないように注意してください。



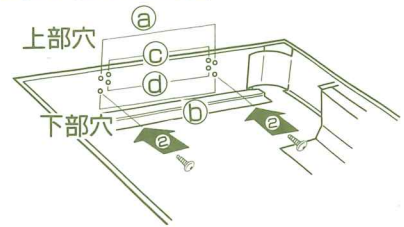
設置方法

2 取付枠を取り付ける

- 1-④ではずした取付枠をシステムキッチンカウンタートップ取付穴に取り付ける。
(取付穴の中央にくるように左、右のすき間がほぼ均等になるように固定してください。)
- 同梱の付属ネジ4個で仮止めをする。
(取付枠側面に付属ネジ取付用の穴が6ヶ所あります。a, b, c, dのいずれかの穴に4ヶ所(左、右2ヶ所)ネジで仮止めしてください。)

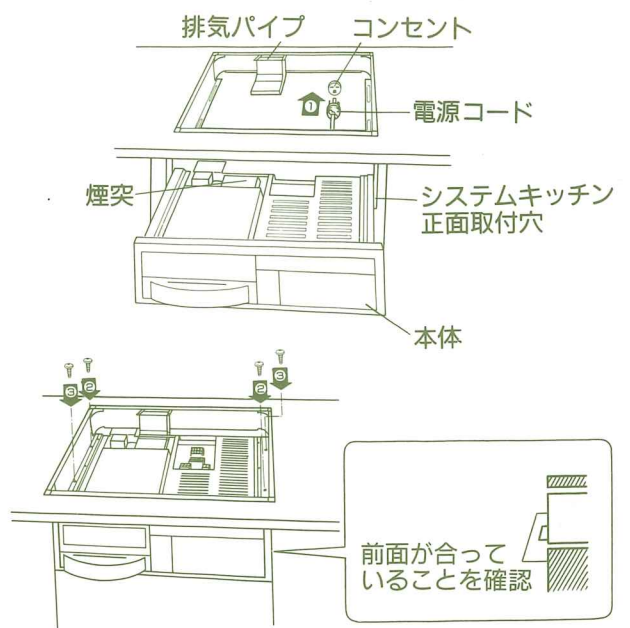


⑥穴(下部穴)で取り付けた場合



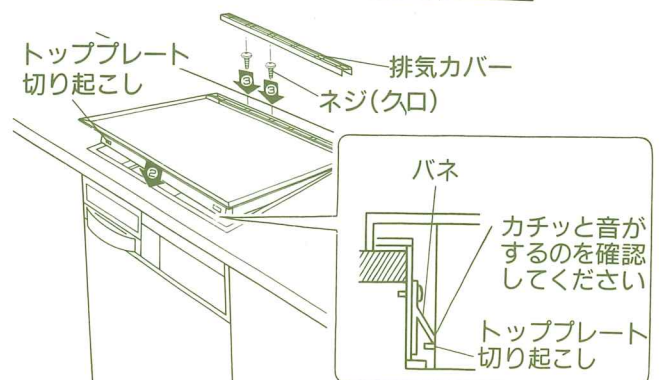
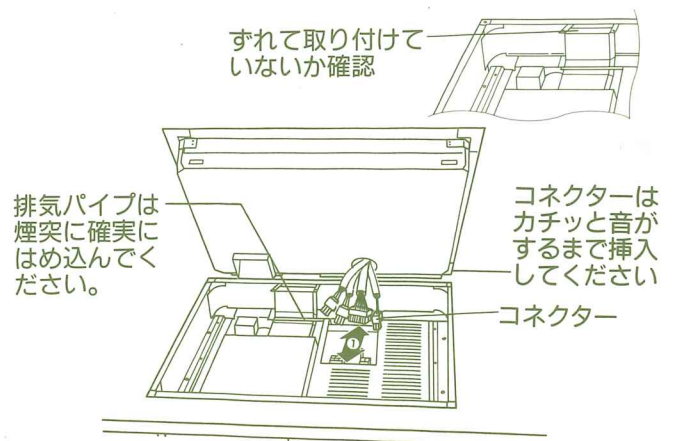
3 本体を正面から差し込む

- プラグをコンセントに接続後、本体を取付枠に差し込む。
(排気パイプに本体の煙突を確実にはめ込んでください。)
(排気パイプと煙突がはめ込みにくい場合は、排気パイプを取付枠からはずして、先に煙突にはめ込んでから再度、取付枠に取り付けてください。)
(排気パイプが、ずれていないか確認してください。)
- システムキッチン前面と本体の前面の位置を合わせてから、1-③ではずしたネジ(M4×8)4個で固定し、最後に2-②で仮止めしていたネジを固定します。



4 トッププレート部を取り付ける

- トッププレート部をカウンタートップの上のせて本体とトッププレート部のコネクターを接続します。
(コネクターを引っ張っても外れないことを確認してください。)
- トッププレート部を取付穴に挿入します。このときトッププレート部前面の切り起こしが取付枠前面のバネに引っかかるのを確認してください。
※リード線がかみ込まないように注意してください。
- トッププレートを1-①ではずしたネジ(M4×8, クロ)2個で固定し、排気口の上に排気カバーをのせます。



工事完了後の確認

- 通電する前にグリル皿内部，ヒーターの上に梱包材がないことを確認してください。
- 設置工事終了後，次の手順で確認しチェックしてください。

		確 認 項 目	チェック
梱包材の取りはずし		グリルドア，操作パネル部の止めテープを取りはずしたか確認してください。	
		グリル皿内部，トッププレート上に梱包材がないか確認してください。	
電気工事		接地工事	
		漏電ブレーカーの設置	
		電源プラグの接続	
電 気 試 験	①	電源電圧が単相200Vであることを確認してください。	
	②	電源スイッチを入れてください。 ➡ 電源ランプ 0:00 が点灯する。	
	③	右ヒーターの入/切キーを約1秒間押し してください。 ➡ 火カランプと高温注意ランプ（トッププレート）が点灯し，約5秒後にヒーターが赤熱する。	
	④	左ヒーターの入/切キーを約1秒間押し してください。 ➡ 火カランプと高温注意ランプ（トッププレート）が点灯し，約5秒後にヒーターが赤熱する。	
	⑤	HT-MRA4 HT-MRB4 中央ヒーターの入/切キーを約1秒間押し ください。 ➡ 火カランプと高温注意ランプ（トッププレート）が点灯し，約5秒後にヒーターが赤熱する。	
	⑥	HT-MRA4 グリルヒーターの入/切キーを約1秒間 押ししてください。 ➡ 火カランプ(右側1ヶと左側2ヶ)が点灯し，約1分30秒後にグリルヒーターが赤熱する。	
		HT-MRB3 HT-MRB4 グリルヒーターの入/切キーを約1秒間 押ししてください。 ➡ 「グリル皿に水を入れてください」と音声が出る。 ➡ 排気口から風が出る。 (風は左側の排気口からしか出ません。)	
⑦	温度センサーをセンサー差込口に挿入し，右ヒーター入/切キーを約1秒間押し してください。 ➡ 火カランプ(左側1ヶ)が点灯し，約5秒後にヒーターが赤熱する。		
終了		終了	

- ★電気試験後，必ず電源スイッチを「切」にしてください。
- ★この設置工事説明書は必ず，お客様にお渡しください。

株式会社 日立空調システム

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-23-2
(大木須田町ビル)
電話 (03)3255-7201

株式会社 日立ホームテック

〒105-8430 東京都港区西新橋 2-15-12
電話 (03)3502-2111

株式会社 日立製作所

〒105-8430 東京都港区西新橋 2-15-12
電話 (03)3502-2111